

女性として

仁井田中3年 三浦 里緒さん

8月1日、市民交流センターthe tteで少年の主張大会が行われ、市内各中学校の生徒10人が、日頃考えていることや感じていることなどを発表しました。最優秀賞と優秀賞の5人は、9月27日(金)にサンライズもとみや(本宮市)で行われる県大会の出場候補者として、推薦されました。

「元始、女性は太陽であった。」これは、女性の権利獲得に活躍していた平塚らいてうの言葉です。この言葉が世に出た頃の日本では、女性に参政権はなく、その地位も低いものでした。社会科の授業でこのことを知った時、私は「日本にもこんな時代があったのか」くらいに思っていました。あまりに昔のこと



最優秀賞を受賞した三浦さん

皆さんの発表をホームページで聞くことができます!

少年の主張大会の内容を8月17日にウルトラFMで放送しました!
市ホームページから聞くことができますので、中学生の思いをぜひお聞きください。

須賀川市 少年の主張



市ホームページ

で、身近なことには感じられなかったのです。

そんなある日、私は信じられないようなニュースを目にしました。それは、大学の医学部入試において、女子という理由だけで点数が低くされ、合格しづらくされていたという内容でした。

現在、受験生である私は自分の志望校合格に向かって毎日勉強に励んでいます。でも、もし、女子という理由だけで点数が低くされるとしたら、とても勉強する気にはなれません。一番公平であるはずの入学試験でこんな不公平なことが行われているなんて、私は強いショックを受けました。

その理由は女子は結婚や出産で長い時間働けなかったり、仕事を途中で辞めてしまうからです。結婚や出産の上野千鶴子さんが、こんな祝辞を述べています。

「医大の不正入試のように頑張っても報われない社会がある。頑張ったら報われると思えるのは、環境のおかげである。自分たちの恵まれた環境と能力を、人々を助けるために使ってほしい。強がらず、自分の弱さを認め合って生きてほしい。」と。

東大生の女子の割合は二割ほどしかいません。これは、女性にはあまり高い学力は必要ないと考える世の中の風潮も理由の一つだそうです。私は本当に頑張りたいと思っている人達が男性女性にかかわらず、正々堂々と頑張れる社会になってほしいと思います。上野さんの言葉を聞いてますますその思いが強くなりました。

私が学級委員長に選ばれたのは、私という人間を男女という区別なく認めてくれた周囲の人たちがいたからです。私を認めてくれた環境の中で、私が十分に委員長という役目を果たせたかは分かりません。でも今の私が二年前のあのステージの上に戻れたとしたら、男子の中に女子が一人であつても臆することなく、堂々と振る舞っていたことでしょう。どちらが偉いとか、どちらが優れているとかではなく、男性も女性も一人の人間として尊重される世の

※同一賞内は発表順

●受賞者一覧		※同一賞内は発表順	
最優秀賞	三浦 里緒さん	仁井田中3年	女性として
優秀賞	滝田 和佳さん	小塩江中3年	優しさの連鎖
	伊藤 亜可梨さん	岩瀬中3年	生かされるということ
	前田 陽葵さん	第二中3年	私が気づいた小さな国際社会
	鈴木 さくらさん	第三中3年	本気は素敵だ!!
優良賞	上原 麻緒さん	西袋中3年	その一言が
	福田 彩美さん	稲田学園9年	時代を超える日本語
	石井 心菜さん	大東中3年	孔子先生の教え
	名古谷 慧さん	長沼中3年	今の自分と向き合って
	杉山 匠磨さん	第一中3年	リーダーとは?

産は女性だけの問題ではありません。それは女性だけに、女子だけが結婚や出産を理由に不合格にされるなら、これは明らかな差別です。そして、世の中には、女性を男性よりも下に見たりする雰囲気があるのかと、とても残念に思いました。

とは言うものの、そういう私自身にも実は男子と女子を区別する考えがあつたのも事実です。

一年生の秋、文化祭のレクリエーションのくじ引きをするために、学級委員長だった私はステージに上が



発表を終え、皆さんで記念撮影

中になるべきだと思えます。そのためには、男性だから、女性だからではなく、まずは自分に自信を持つていられることが大切なのだと考えました。

これからも日々の生活の中で男女差別を目にした時、私自身も実際に体験するかもしれない。それでも私は人が男女の区別なく、そのまま認められる環境を作るためにどんなことができるかを考え、小さなことでも実行していくつもりです。

生涯学習スポーツ課 ☎(88)9171

第43回子どもの祭典

みんなの祭りだ! 夢ランド



開会式でのバルーンリリース

子どもたちの健やかな成長を願い、今年も子どもの祭典を行います。

日時 10月13日(日) 午前10時~午後2時

会場 須賀川アリーナ

内容 各団体が趣向を凝らしたコーナーやステージ発表

駐車場 須賀川アリーナと文化センターの一部、須賀川信用金庫本部をご利用ください。

第43回「子どもの祭典」実行委員会・市明るいまちづくりの会連絡協議会(生涯学習スポーツ課内) ☎(88)9173